

とやまたかおか ばんどう こうさてん りったい 富山高岡バイパス坂東交差点立体が開通

富山河川国道事務所が事業を進めている“富山高岡バイパス坂東交差点立体”の開通日が決まりましたので、お知らせします。

開通日：平成28年 3月19日（土）

とやまたかおか ばんどうこうさてん りったい 【富山高岡バイパス坂東交差点立体の開通により期待される主な効果】

効果①：混雑時を中心に発生している渋滞の緩和

走行速度の向上により、主要渋滞箇所の渋滞が緩和

効果②：迅速な救急医療活動を支援

射水市から救急医療施設への救急搬送時間が短縮

効果③：物流効率化により、企業活動を支援

物流効率化により、沿線地域の企業活動が活性化することで産業振興に貢献

※ 開通する時間や開通記念式典については後日お知らせします

【事業概要図】



※ 整備効果と事業概要の詳細は次頁以降に記載しています

お問い合わせ先

■ 調査第二課長

あめたに たくや
飴谷 卓也

TEL：076-443-4717（直通）

FAX：076-443-4718



国土交通省 北陸地方整備局

富山河川国道事務所 Tel:076-443-4701(代)

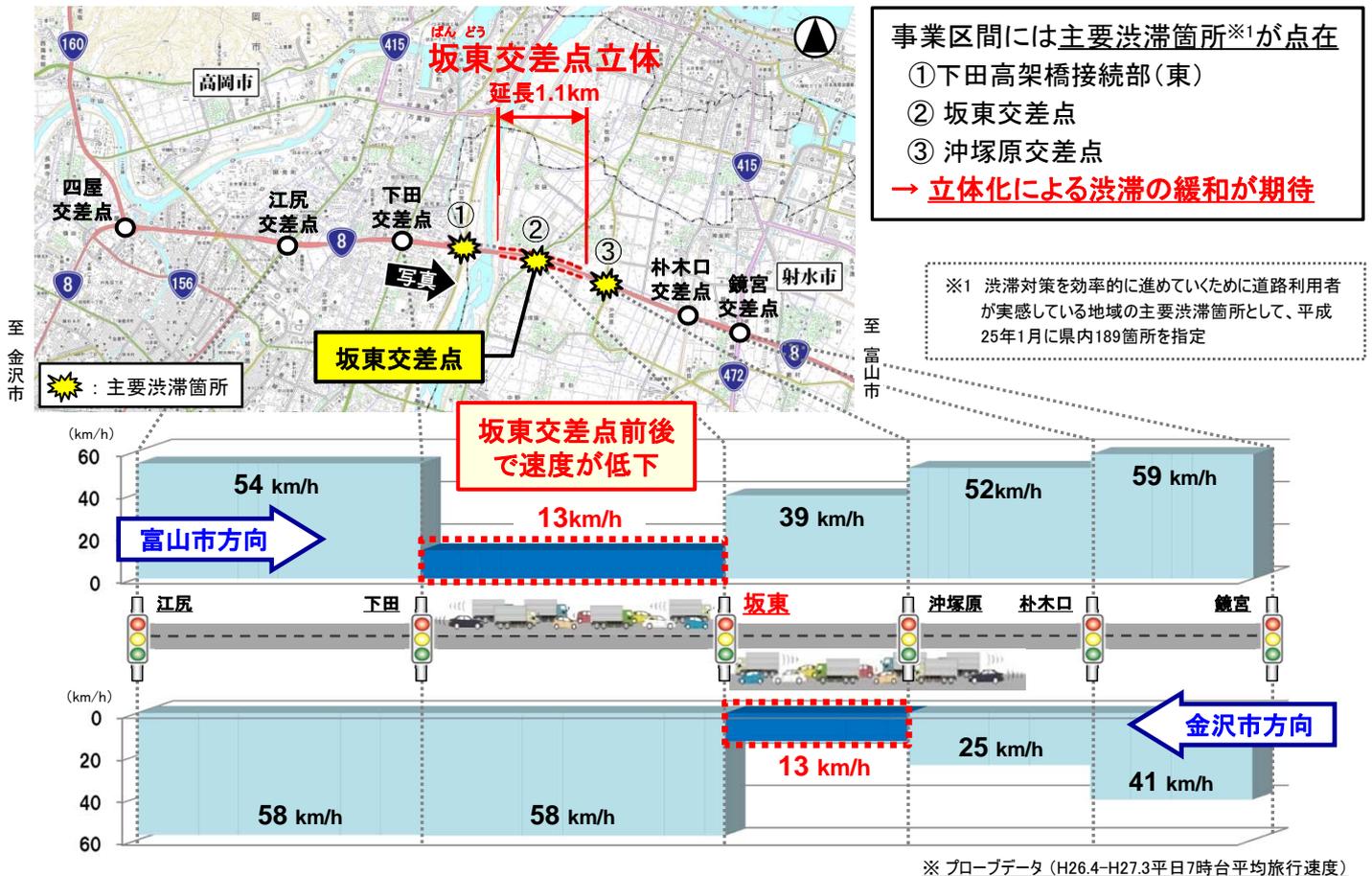
〒930-0837 富山市奥田新町2番1号 <http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/>

富山高岡バイパス坂東交差点立体開通による効果

効果①：混雑時を中心に発生している渋滞の緩和

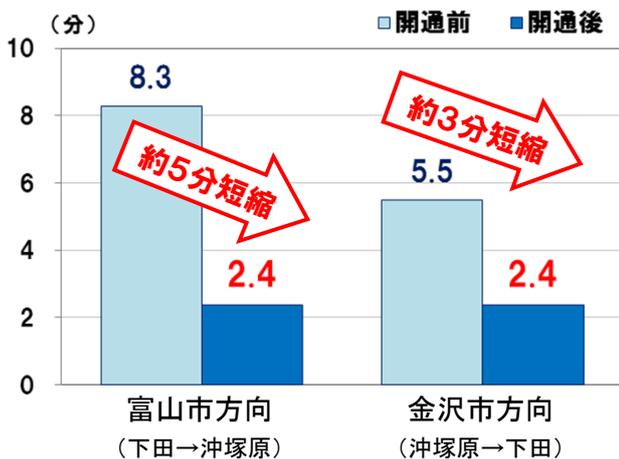
- ・ 事業区間では、混雑時に坂東交差点を中心とした速度低下(坂東交差点前後で上下線共に20km/h以下)に起因した渋滞が発生しています。
- ・ 坂東交差点立体の開通によって、走行速度が向上し、主要渋滞箇所の渋滞が緩和されます。(所要時間最大約5分短縮)

【事業区間周辺の主要渋滞箇所と朝ピーク時旅行速度】



【混雑時の所要時間短縮効果

(下田交差点～坂東交差点～沖塚原交差点)



坂東交差点の渋滞状況

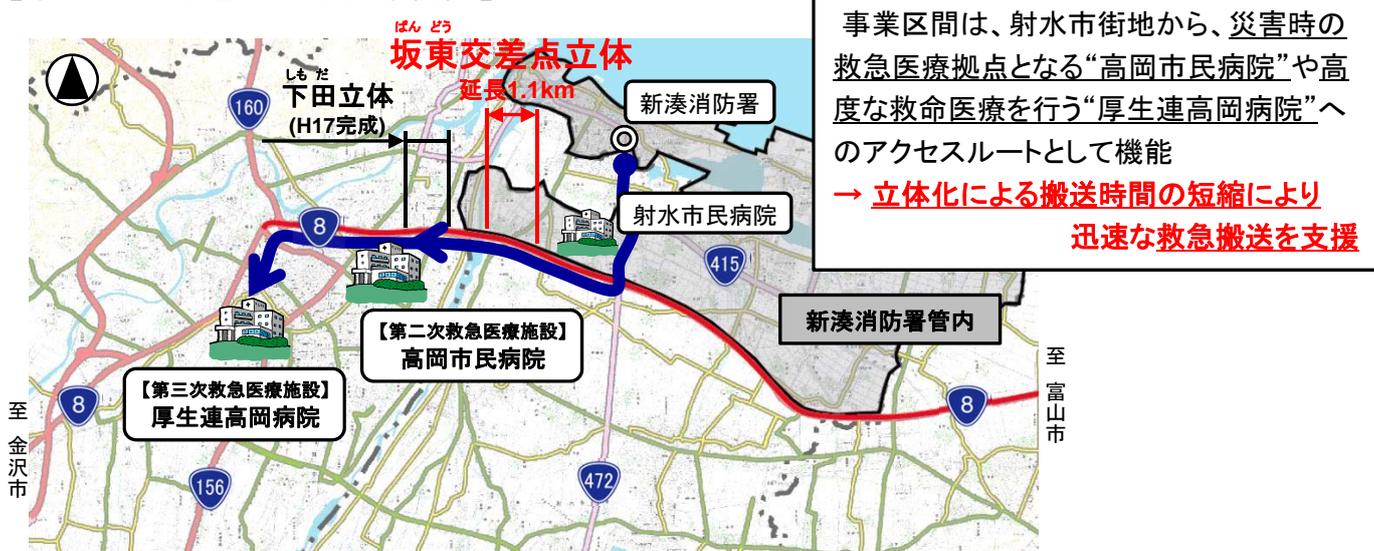
※ 開通前：プローブデータ (H26.4-H27.3平日7時台平均旅行速度より算出) / 開通後：対象区間の速度を規制速度60km/hと仮定して算出

富山高岡バイパス坂東交差点立体開通による効果

効果②：迅速な救急医療活動を支援

- ・新湊消防署管内における救急搬送のうち、約4割が国道8号を搬送経路として利用しています。
- ・坂東交差点立体開通に伴う交通の円滑化により、脳梗塞等の1分1秒が生死につながる急病人の搬送時間が短縮するなど救急医療活動を支援します。

【事業区間周辺の救急医療機関】



【新湊消防署管内の主な搬送先】

国道8号が搬送経路となる搬送先：約410人/年(約4割)



新湊消防署管内(東部出張所を含む)の救急搬送件数(H24)
※ 射水市新湊消防署へのヒアリング調査(H25.6実施)

【射水市新湊消防署救急隊員の声】

① 国道8号坂東交差点の交通状況について

高岡方面の病院に搬送する際は主に国道8号を利用していますが、朝夕の時間帯では特に坂東交差点の渋滞が著しく、交差点の通過にかなりの時間を要しています。

② 参考：開通済の下田立体による効果について

下田立体により、搬送時間が短縮し、特に通勤時間帯に高岡市内へ搬送する場合、立体化前に比べ5分以上短縮されます。平常時でも1～2分程度は短縮しています。



富山高岡バイパス坂東交差点立体開通による効果

効果③：物流効率化により、企業活動を支援

- ・ 事業区間を含む国道8号は、物流ルートや伏木富山港、工業地帯へのアクセスルートとして機能しており、高岡市・射水市の工業の発展を支えてきました。
- ・ 坂東交差点立体による渋滞緩和により、物流効率化が図られることより企業活動を支援することで沿線地域の産業振興が期待されます。

【物流ルートとして国道8号(坂東交差点)を利用】



【国道8号沿線企業の声】

企業①：アルミ製造業

- ・ 県内各所に立地する工場への輸送ルートは主に国道8号を利用しており、工場間を1日に何十往復もしています。
- ・ 下田立体開通時も所要時間が短縮したため、坂東交差点立体の開通も期待しています。



企業②：製薬会社

- ・ 小矢部川の利水と国道8号に近いことが、工場立地の利点となっています。
- ・ 「下田交差点が立体化で事故が減少したように、坂東交差点にも期待しています。」



※ 企業ヒアリング調査により確認(H27.12実施)

国道8号と伏木富山港(富山新港)

富山高岡バイパス坂東交差点立体の事業概要

◆ 事業目的

◎ 交通渋滞の解消

◎ 幹線ネットワークの充実強化

◆ 事業概要

- 坂東交差点立体化事業は、地域高規格道路富山高岡連絡道路のうち、射水市沖塚原～同市川口間延長1.1kmを立体化(高架化)する事業です。
- 一般国道8号は、富山市と高岡市を結ぶ重要幹線道路で県内でも有数の交通量となっており、近年の著しい交通量の増加に伴い、坂東交差点を中心に複数の交差点が主要渋滞箇所指定されています。
- そのため、主要交差点の渋滞解消による安全かつ快適な走行環境の早急な整備が求められました。

富山高岡バイパス 延長:24.8km



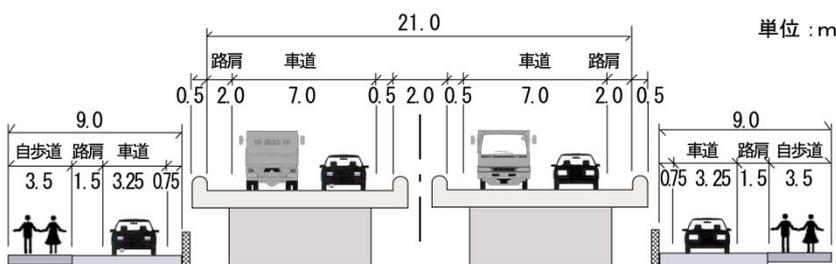
◆ 計画諸元と事業経緯

事業区間	射水市沖塚原～射水市川口		
延長	L=1.1km (4車線)		
道路の区分	第3種1級		
設計速度	80km/h		
道路幅員	本線部	21.0m (2.0+7.0+0.5+2.0+0.5+7.0+2.0)	
	ランプ部	9.0m (0.75+3.25+1.5+3.5)	
事業着手	平成18年度	都市計画変更	平成18年度



坂東交差点の渋滞状況

◆ 標準断面図



工事中(H27.11)の坂東交差点立体